

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公開番号】特開 2000-143505 (P2000-143505A)

【公開日】平成 12 年 5 月 23 日 (2000.5.23)

【出願番号】特願 平 10-316028

【国際特許分類第 7 版】

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/485

A 6 1 K 38/46

A 6 1 K 45/00

【F I】

A 6 1 K 31/135

A 6 1 K 31/195

A 6 1 K 31/485

A 6 1 K 45/00

A 6 1 K 37/54

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 2 日 (2005.2.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鎮痛を目的とする予防又は治療剤として使用するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される 1 種又は 2 種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する医薬組成物。

【請求項 2】

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される 1 種又は 2 種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類を有効成分として含有する鎮痛剤。

【請求項 3】

抗炎症を目的とする予防又は治療剤として使用するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される 1 種又は 2 種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類を有効成分として含有する医薬組成物。

【請求項4】

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する抗炎症剤。

【請求項5】

解熱を目的とする予防又は治療剤として使用するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する医薬組成物。

【請求項6】

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する解熱剤。

【請求項7】

抗ヒスタミンを目的とする予防又は治療剤として使用するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する医薬組成物。

【請求項8】

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として含有する抗ヒスタミン剤。

【請求項9】

鎮痛を目的とする予防又は治療剤を製造するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として使用すること。

【請求項10】

抗炎症を目的とする予防又は治療剤を製造するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として使用すること。

【請求項11】

解熱を目的とする予防又は治療剤を製造するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として使用すること。

【請求項12】

抗ヒスタミンを目的とする予防又は治療剤を製造するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として使用すること。

【請求項13】

鎮咳を目的とする予防又は治療剤を製造するために、同時に、若しくは、別々に投与する組み合わせとして

(1) クレマスチン類、フェニラミン類、マレイン酸カルビノキサミン、エフェドリン類、コデイン類、塩酸フェニルプロパノールアミン、セラペプターゼ、塩化リゾチーム及び塩酸ブロムヘキシンより選択される1種又は2種以上の薬剤、及び

(2) ロキソプロフェン類

を有効成分として使用すること。